

授業科目名	総合日本語 4 文法 A
科目番号	3901072
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 4
担当教員	木戸 光子
授業概要	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	初中級レベルの文法項目を確実にマスターし、日常生活において正確に運用できるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキストに基づいた文法項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験
履修条件	プレースメントテストで総合日本語 4 レベル (以上) に認定されていること。
成績評価方法	期末試験 50%、中間試験 30%、宿題 20%
授業外における学習方法	教科書の予習・復習
教科書	1. 『短期集中初級日本語文法総まとめ ポイント 20』友松悦子・和栗雅子、スリーエーネットワーク、2004 年 (http://www.3anet.co.jp/ja/1277/)
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	文法項目の予習以外にも、単語を調べ、文を読む練習をするなど、積極的に自習をしてほしい。
その他	オフィスアワー:木曜 15 時 15 分~16 時 30 分 (大学会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)

Course	Comprehensive Japanese 4 Grammar A
Course No.	3901072
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue4
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will fully master upper elementary level grammar items and be able to apply these in daily life.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on the text (Note: A midterm test is scheduled for Week 8) Week 15: Final test
Prerequisites	Students must have been placed at Level N400 (or higher) in the placement test.
Grading policy	Final test 50%、Midterm test 30%、Homework 20%
Study outside of class	Preview and review of the text
Textbook(s)	1. 『短期集中初級日本語文法総まとめ ポイント 20』友松悦子・和栗雅子、スリーエーネットワーク、2004年 (http://www.3anet.co.jp/ja/1277/)
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Students are expected to be active learners and engage in searching vocabulary, practice reading, etc. apart from previewing the text.
Others	

授業科目名	総合日本語 4 文法 B
科目番号	3901082
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 4
担当教員	木戸 光子
授業概要	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	初中級レベルの文法項目を確実にマスターし、日常生活において正確に運用できるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキストに基づいた文法項目の学習および練習問題 (ただし第 8 週は中間試験)、第 15 週:期末試験
履修条件	プレースメントテストで総合日本語 4 レベル (以上) に認定されていること。
成績評価方法	期末試験 50%、中間試験 30%、宿題 20%
授業外における学習方法	教科書の予習・復習をする。
教科書	1. The textbook will be announced when classes start.
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	文法項目の予習以外にも、単語を調べ、文を読む練習をするなど、積極的に自習をしてほしい。
その他	オフィスアワー:木曜 15 時 15 分~16 時 30 分 (大学会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)

Course	Comprehensive Japanese 4 Grammar B
Course No.	3901082
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue4
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	書き言葉による文章の理解、産出に必要な文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will fully master upper elementary level grammar items and be able to apply these in daily life.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on the text (Note: A midterm test is scheduled for Week 8) Week 15: Final test
Prerequisites	Students must have been placed at Level N400 (or higher) in the placement test.
Grading policy	Final test 50%、Midterm test 30%、Homework 20%
Study outside of class	Preview and review of the text
Textbook(s)	1. The textbook will be announced when classes start.
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Students are expected to be active learners and engage in searching vocabulary, practice reading, etc. apart from previewing the text.
Others	

授業科目名	総合日本語 4 話す聞く A
科目番号	3901092
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 金 4
担当教員	小池 康
授業概要	身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表ができ、また他の学生の発表を正確に聞き取れるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしいテレビ番組や他者の話すことを正確に聞き取り、その内容を理解することができるようになる。 ・自分の国や身近な話題について説明したり、自分の意見を述べるようになる。
授業の概要・計画	<p>第 1 週 オリエンテーション、自己紹介</p> <p>第 2~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う</p>
履修条件	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。
成績評価方法	聴解テスト 50%、発表 40%、積極的な参加 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	事前に提示されたテーマについて調べる。
教科書	1. Handouts
参考書	必要に応じて紹介する。
受講生に望むこと	かならず準備をしたうえで授業に来ること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 4 Speaking and Listening A
Course No.	3901092
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Fri4
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表ができ、また他の学生の発表を正確に聞き取れるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students will be able to listen and understand conversations and simple TV programs. ・ They will also be able to explain about their own country or about familiar topics, to give their opinion.
Schedule	<p>Week 1: Orientation and self-introductions</p> <p>Weeks 2 to 14: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class</p>
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test.
Grading policy	Listening tests 50%, Presentation 40%, Class participation 10% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Students should research and interview other people about assigned topics beforehand.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	Will be introduced as necessary.
Student requirements	Students must come to class prepared with assignments.
Others	

授業科目名	総合日本語 4 話す聞く B
科目番号	3901102
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 金 4
担当教員	小池 康
授業概要	身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表ができ、また他の学生の発表を正確に聞き取れるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしいテレビ番組や他者の話すことを正確に聞き取り、その内容を理解することができるようになる。 ・自分の国や身近な話題について説明したり、自分の意見を述べるようになる。
授業の概要・計画	<p>第 1 週 オリエンテーション、自己紹介</p> <p>第 2~14 週 スケジュールに基づいて授業を行う</p>
履修条件	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。
成績評価方法	聴解テスト 50%、発表 40%、積極的な参加 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	事前に提示されたテーマについて調べる。
教科書	1. Handouts
参考書	必要に応じて紹介する。
受講生に望むこと	かならず準備をしたうえで授業に来ること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 4 Speaking and Listening B
Course No.	3901102
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Fri4
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	身近なテーマや話題に関する簡単な発話を正確に聞き取れるようになる。簡単な発表ができ、また他の学生の発表を正確に聞き取れるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students will be able to listen and understand conversations and simple TV programs. ・ They will also be able to explain about their own country or about familiar topics, to give their opinion.
Schedule	<p>Week 1: Orientation and self-introductions</p> <p>Weeks 2 to 14: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class</p>
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test.
Grading policy	Listening tests 50%, Presentation 40%, Class participation 10% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Students should research and interview other people about assigned topics beforehand.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	Will be introduced as necessary.
Student requirements	Students must come to class prepared with assignments.
Others	

授業科目名	総合日本語 4 読む書く A
科目番号	3901112
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 木 4
担当教員	中山 健一
授業概要	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。 <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション・レベルチェック 第2~15週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言ったり、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。
履修条件	総合日本語 3 修了レベル
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	毎回の予習・復習および宿題
教科書	プリント教材
参考書	特になし
受講生に望むこと	毎回の予習・復習および宿題を提出すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 4 Reading and Writing A
Course No.	3901112
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu4
Instructor	Kenichi Nakayama
Course Overview	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to read and write read coherent discourse about familiar topics as well as: <ul style="list-style-type: none"> • correctly understand the content of the reading • gather the important points of the reading • deepen their knowledge and understanding of the reading • appropriately express what they understood and thought about the reading • increase their knowledge of vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns, etc. through reading • reflect on their own reading styles
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 15: Reading of short passages such as news articles, essays, narratives, etc to deepen understanding of Japan. Students speak and write their thoughts about the readings to enable them to read critical reading material. There will be a midterm and final test.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 3.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Preview and review material and completion of homework
Textbook(s)	Handouts
Reference book(s)	None in particular
Student requirements	Students should always preview and review lessons, and complete and submit homework.
Others	

授業科目名	総合日本語 4 読む書く B
科目番号	3901122
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 木 4
担当教員	中山 健一
授業概要	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。 <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を正しく理解する ・文章の大切な部分を読み取る ・文章について、理解や考えを深める ・文章を読んで、理解したこと、考えたことを的確に伝える ・読むことを通して、語彙・表現・文法・文型等の知識を増やす ・自分の読み方を振り返る
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック 第 2~15 週:日本理解についての新聞記事、エッセイ、物語等の短い読み物を読む。批判的読みができるようになることを目指し、読んだものに関して自分の意見を言ったり、書いたりする。中間テスト・期末テストの実施。
履修条件	総合日本語 3 修了レベル
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	毎回の予習・復習および宿題
教科書	プリント教材
参考書	特になし
受講生に望むこと	毎回の予習・復習および宿題を提出すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 4 Reading and Writing B
Course No.	3901122
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu4
Instructor	Kenichi Nakayama
Course Overview	よく知っている事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to read and write read coherent discourse about familiar topics as well as: <ul style="list-style-type: none"> • correctly understand the content of the reading • gather the important points of the reading • deepen their knowledge and understanding of the reading • appropriately express what they understood and thought about the reading • increase their knowledge of vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns, etc. through reading • reflect on their own reading styles
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 15: Reading of short passages such as news articles, essays, narratives, etc to deepen understanding of Japan. Students speak and write their thoughts about the readings to enable them to read critical reading material. There will be a midterm and final test.
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 3.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Preview and review material and completion of homework
Textbook(s)	Handouts
Reference book(s)	None in particular
Student requirements	Students should always preview and review lessons, and complete and submit homework.
Others	

授業科目名	総合日本語 5 文法 A
科目番号	3901132
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 3
担当教員	今井 新悟
授業概要	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	中級レベルまでの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解が正確にできるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 文章の産出、理解に必要な文法の学習、第 15 週 まとめ 第 1 回
履修条件	総合日本語 4 レベル修了相当の日本語力があること。総合日本語 4 レベル修了相当の文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	出席 20%、課題・宿題 20%、中間テスト・期末テスト 60%
授業外における学習方法	宿題 (学習した文章、文法の復習)
教科書	1. 『レベルアップ日本語文法中級』許明子・宮崎恵子 (2013) くろしお出版
参考書	適宜、授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。

Course	Comprehensive Japanese 5 Grammar A
Course No.	3901132
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue3
Instructor	Shingo Imai
Course Overview	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 14: Sentence construction and comprehensive study of grammar Week 15: Wrap-up 1.
Prerequisites	Students should have attained the level N400 or possess an equivalent level of grammar knowledge.
Grading policy	Attendance and participation 20%、Assignments and homework 20%、Midterm/Final test 60%
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. 『レベルアップ日本語文法中級』許明子・宮崎恵子(2013)くろしお出版
Reference book(s)	To be introduced in class, as necessary.
Student requirements	Review past lessons and promptly hand in homework.
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level.

授業科目名	総合日本語 5 文法 B
科目番号	3901142
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 3
担当教員	今井 新悟
授業概要	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	中級レベルまでの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解が正確にできるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 文章の産出、理解に必要な文法の学習、第 15 週 まとめ 第 1 回
履修条件	総合日本語 4 レベル修了相当の日本語力があること。総合日本語 4 レベル修了相当の文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	出席 20%、課題・宿題 20%、中間テスト・期末テスト 60%
授業外における学習方法	宿題 (学習した文章、文法の復習)
教科書	1. 『レベルアップ日本語文法 中級』許明子・宮崎恵子 (2013) くろしお出版
参考書	適宜、授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。

Course	Comprehensive Japanese 5 Grammar B
Course No.	3901142
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue3
Instructor	Shingo Imai
Course Overview	やや専門的な内容の文章理解、産出に必要な文法を理解し使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 14: Sentence construction and comprehensive study of grammar Week 15: Wrap-up 1.
Prerequisites	Students should have attained the level N400 or possess an equivalent level of grammar knowledge.
Grading policy	Attendance and participation 20%、Assignments and homework 20%、Midterm/Final test 60%
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. 『レベルアップ日本語文法 中級』許明子・宮崎恵子(2013) くろしお出版
Reference book(s)	To be introduced in class, as necessary.
Student requirements	Review past lessons and promptly hand in homework.
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level.

授業科目名	総合日本語 5 話す聞く A
科目番号	3901152
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 金 3
担当教員	小池 康
授業概要	やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。また、尊敬表現や謙譲表現などの対人関係に基づく表現を正確に使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	初級・中級で学んだ語彙や文法項目を使って、日常生活や学習場面でよく使われる会話を聞き取り、必要な表現を使用して自分の考えを相手に正確に伝えられるようになる。また、対人関係に基づく下記の表現の使い分けができるようになる。 ・普通体・丁寧体の使い分けを理解し、運用することができる。 ・尊敬語・謙譲語を聞き取り、使いこなすことができる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション 第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。
履修条件	グローバルコミュニケーション教育センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。
成績評価方法	最終発表 30%、テスト(聴解)50%、授業内での活動 10%、積極的な参加 10% (ただし、70%以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	テレビ・ラジオ・日常生活での実際運用
教科書	1. Handouts
参考書	必要に応じて紹介する。
受講生に望むこと	事前に出された課題を準備してから授業に出ること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 5 Speaking and Listening A
Course No.	3901152
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Fri3
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。また、尊敬表現や謙譲表現などの対人関係に基づく表現を正確に使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to listen to conversations in daily life and academic situations using vocabulary and grammar they learned in the elementary and intermediate levels as well as being able to state their purpose or intention using essential expressions. They are able to properly use words based on interpersonal relationships and achieve the following: <ul style="list-style-type: none"> ・ Understand and use the plain and polite forms according to the situation ・ Listen and know how to use the respectful and humble forms
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test of the CEGLOC.
Grading policy	Final presentation 30%, Test (listening) 50%, Class activities 10%, Class participation 10% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Practical application of lessons in students' everyday life and through watching TV and listening to the radio.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	Will be introduced as necessary.
Student requirements	Students must come to class prepared and having completed assignments beforehand.
Others	

授業科目名	総合日本語 5 話す聞く B
科目番号	3901162
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 金 3
担当教員	小池 康
授業概要	やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及び テーマ	初級・中級で学んだ語彙や文法項目を使って、日常生活や学習場面でよく使われる会話を聞き取り、必要な表現を使用して自分の考えを相手に正確に伝えられるようになる。また、対人関係に基づく下記の表現の使い分けができるようになる。 ・普通体・丁寧体の使い分けを理解し、運用することができる。 ・尊敬語・謙譲語を聞き取り、使いこなすことができる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション 第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。
履修条件	グローバルコミュニケーション教育センターでプレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けなければならない。
成績評価方法	最終発表 30%、テスト (聴解)50%、授業内での活動 10%、積極的な参加 10% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	テレビ・ラジオ・日常生活での実際運用
教科書	プリント教材 1. Handouts
参考書	必要に応じて紹介する。
受講生に望むこと	事前に出された課題を準備してから授業に出ること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 5 Speaking and Listening B
Course No.	3901162
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Fri3
Instructor	Yasushi Koike
Course Overview	やや専門的な内容の解説やスピーチができ、また聞いて理解できるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to listen to conversations in daily life and academic situations using vocabulary and grammar they learned in the elementary and intermediate levels as well as being able to state their purpose or intention using essential expressions. They are able to properly use words based on interpersonal relationships and achieve the following: <ul style="list-style-type: none"> ・ Understand and use the plain and polite forms according to the situation ・ Listen and know how to use the respectful and humble forms
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class
Prerequisites	Students must have been placed in this level according to the placement test of the CEGLOC.
Grading policy	Final presentation 30%, Test (listening) 50%, Class activities 10%, Class participation 10% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Practical application of lessons in students' everyday life and through watching TV and listening to the radio.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	Will be introduced as necessary.
Student requirements	Students must come to class prepared and having completed assignments beforehand.
Others	

授業科目名	総合日本語 5 読む書く A
科目番号	3901172
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 木 3
担当教員	柳田 しのぶ
授業概要	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を正しく理解する。 ・読んだものについて、理解、考えを深める。 ・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。 ・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第1週:授業案内(オリエンテーション)第2週~14週:新聞記事、エッセイ、物語などを読む。内容理解質問に的確に口頭、および文章で答えられるように練習をする。語彙・表現・文法・文型を豊かにしていく。読んだものに関して意見、感想を他の学習者と交換する。引用をしながら、感想文が書けるように練習する。読み物ごとにレポートを提出する。第15週:期末テスト
履修条件	総合日本語 4 修了レベル
成績評価方法	作文提出 30%、小テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集
教科書	授業開始時に指示する。
参考書	授業時に紹介する
受講生に望むこと	授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。宿題の提出をすること。
その他	受講者の状況により授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Reading and Writing A
Course No.	3901172
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu3
Instructor	Shinobu Yanagita
Course Overview	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to: <ul style="list-style-type: none"> • correctly understand the content of the reading. • deepen their knowledge and understanding of the reading • appropriately express both orally and in writing what they understood and thought about the reading • learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns
Schedule	Week 1: Course introduction (Orientation) Weeks 2 to 14: Reading articles, essays, narratives, etc. We will practice how to correctly answer reading comprehension questions both orally and in writing. There will be activities to enrich knowledge of vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns, and for students to exchange ideas and opinion about the reading with others. Students will also be trained to write reflective essays and learn to use quotations. A theme for short report on each reading will be given. Week 15: Final test
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4.
Grading policy	Submitted compositions 30%, Short tests 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students should always preview and review lessons, complete and submit homework, and gather background information on the readings.
Textbook(s)	The textbook will be announced when classes start.
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Students are expected to actively participate and to speak out during activities such as pair work. Homework should be promptly submitted.
Others	The class content may change subject to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 5 読む書く B
科目番号	3901182
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 木 3
担当教員	柳田 しのぶ
授業概要	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を正しく理解する。 ・読んだものについて、理解、考えを深める。 ・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。 ・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第1週:授業案内(オリエンテーション)第2週~14週:新聞記事、エッセイ、物語などを読む。内容理解質問に的確に口頭、および文章で答えられるように練習をする。語彙・表現・文法・文型を豊かにしていく。読んだものに関して意見、感想を他の学習者と交換する。引用をしながら、感想文が書けるように練習する。読み物ごとにレポートを提出する。第15週:期末テスト
履修条件	総合日本語 4 修了レベル
成績評価方法	作文提出 30%、小テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集
教科書	授業開始時に指示する。
参考書	授業時に紹介する
受講生に望むこと	授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。宿題の提出をすること。
その他	受講者の状況により授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Reading and Writing B
Course No.	3901182
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu3
Instructor	Shinobu Yanagita
Course Overview	やや専門的な事柄について、まとまりのある文章が読めたり、書けたりするようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to: <ul style="list-style-type: none"> • correctly understand the content of the reading. • deepen their knowledge and understanding of the reading • appropriately express both orally and in writing what they understood and thought about the reading • learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns
Schedule	Week 1: Course introduction (Orientation) Weeks 2 to 14: Reading articles, essays, narratives, etc. We will practice how to correctly answer reading comprehension questions both orally and in writing. There will be activities to enrich knowledge of vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns, and for students to exchange ideas and opinion about the reading with others. Students will also be trained to write reflective essays and learn to use quotations. A theme for short report on each reading will be given. Week 15: Final test
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4.
Grading policy	Submitted compositions 30%, Short tests 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students should always preview and review lessons, complete and submit homework, and gather background information on the readings.
Textbook(s)	The textbook will be announced when classes start.
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Students are expected to actively participate and to speak out during activities such as pair work. Homework should be promptly submitted.
Others	The class content may change subject to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 1A
科目番号	3901192
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火・水・木・金 4
担当教員	小野 正樹
授業概要	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 『Situational Functional Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、ひらがなの確認 第2週～第7週: 『Situational Functional Japanese(学内版) 学内版』2課～4課、『NEJ vol. 1』2課～4課、カタカナの確認、中間テスト 第8週～第15週: 『Situational Functional Japanese(学内版)(学内版)』5課～8課、『NEJ vol. 1』5課～8課、期末テスト、プレゼンテーション 第1回
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したことがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。
成績評価方法	中間テスト 40% 期末テス 460% 日常活動 20%
授業外における学習方法	1 各ユニット開始前 『Situational Functional Japanese Notes)』を読んでしっかり予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 1 A
Course No.	3901192
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue/Wed/Thu/Fri4
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will become able to participate in simple daily communicative activities, such as giving a self introduction, though assistance and scaffolding may be required. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability understand simple and easy compound sentences, and to produce simple sentences. In the areas of reading and writing, students will become able to understand and produce simple compositions on daily topics, appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 1, "NEJ vol.1" Unit 1, Hiragana Weeks 2 to 7: "Basic Japanese" Units 2 to 4, "NEJ vol.1" Units 2 to 4, Katakana, Midterm Test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese" Units 5 to 8, "NEJ vol.1" Units 5 to 8, Final Test, Presentation 1.
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have little or no previous Japanese study. Ability to read and write Hiragana/Katakana desirable.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Presentation 10% Quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
Reference book(s)	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--

授業科目名	総合日本語 1B
科目番号	3901202
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火・水・木・金 4
担当教員	小野 正樹
授業概要	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901632 と同内容。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読め
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション『Situational Functional Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、ひらがなの確認 第2週～第7週:『Situational Functional Japanese(学内版)』2課～4課、『NEJ vol. 1』2課～4課、カタカナの確認、中間テスト 第8週～第15週:『Situational Functional Japanese(学内版)』5課～8課、『NEJ vol. 1』5課～8課、期末テスト、プレゼンテーション 第1回
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したことがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。
成績評価方法	中間テスト 40% 期末テスト 40% 日常点 20%
授業外における学習方法	1 『Situational Functional Japanese Notes』トをしっかり予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 1 B
Course No.	3901202
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue/Wed/Thu/Fri4
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901632 と同内容。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will become able to participate in simple daily communicative activities, such as giving a self introduction, though assistance and scaffolding may be required. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability understand simple and easy compound sentences, and to produce simple sentences. In the areas of reading and writing, students will become able to understand and produce simple compositions on daily topics, appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 1, "NEJ vol.1" Unit 1, Hiragana Weeks 2 to 7: "Basic Japanese" Units 2 to 4, "NEJ vol.1" Units 2 to 4, Katakana, Midterm Test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese" Units 5 to 8, "NEJ vol.1" Units 5 to 8, Final Test, Presentation 1.
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have little or no previous Japanese study. Ability to read and write Hiragana/Katakana desirable.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Presentation 10% Quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
Reference book(s)	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--

授業科目名	総合日本語 2A
科目番号	3901212
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火・水・木・金 2
担当教員	小野 正樹
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Situational Functional Japanese (学内版)』9課、『NEJ vol. 1』9課 第2週～第7週:『Situational Functional Japanese (学内版)』10課～12課、『NEJ vol. 1』7課～12課、中間テスト 第8週～第15週:『Situational Functional Japanese (学内版)』13課～16課、『NEJ vol. 2』13課～16課、期末テスト、プレゼンテーション 第1回
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること
成績評価方法	中間テスト 40% 期末テスト 40% 日常点 20%
授業外における学習方法	1 『Situational Functional Japanese Notes』を予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 2 A
Course No.	3901212
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue/Wed/Thu/Fri2
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 9, "NEJ vol.1" Unit 9 Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 10 to 12, "NEJ vol.1" Units 7, 8, 10, 11, and 12, Midterm test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 13 to 16, "NEJ vol.2" Units 13 to 16, Final test, Presentation 1.
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N101 or N102 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Poster presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
Reference book(s)	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--

授業科目名	総合日本語 2B
科目番号	3901222
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火・水・木・金 2
担当教員	小野 正樹
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901642 と同内容。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Situational Functional Japanese (学内版)』9課、『NEJ vol. 1』9課 第2週～第7週:『Situational Functional Japanese (学内版)』10課～12課、『NEJ vol. 1』7課～12課、中間テスト 第8週～第15週:『Situational Functional Japanese (学内版)』13課～16課、『NEJ vol. 2』13課～16課、期末テスト、プレゼンテーション 第1回
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること
成績評価方法	中間テスト 40% 期末テスト 40% 日常点 20%
授業外における学習方法	1 『Situational Functional Japanese Notes』トをしっかり予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 2 B
Course No.	3901222
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue/Wed/Thu/Fri2
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901642 と同内容。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 9, "NEJ vol.1" Unit 9 Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 10 to 12, "NEJ vol.1" Units 7, 8, 10, 11, and 12, Midterm test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 13 to 16, "NEJ vol.2" Units 13 to 16, Final test, Presentation 1.
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N101 or N102 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Poster presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
Reference book(s)	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--

授業科目名	総合日本語 3A
科目番号	3901232
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火・水・木・金 3
担当教員	木戸 光子
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深め、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』17課、『NEJ vol. 2』17課 第2週～第7週:『Basic Japanese(学内版)』18課～20課、『NEJ vol. 2』A、中間テスト 第8週～第15週:『Basic Japanese(学内版)』21課～24課、『NEJ vol. 2』21課～24課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語2修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること
成績評価方法	作文 10% スキット 10% プレゼンテーション 10% ユニットクイズ 15% 中間テスト 15% 期末テスト 40%
授業外における学習方法	1 各ユニット開始前にマスターテキストをしっかりと予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『初級日本語 Basic Japanese(in house ed.) Lesson17-Lesson24 2. 『NEJ:A New Approach To Elementary Japanese テーマで学ぶ基礎日本語』西口光一、くろしお出版、2012年 (http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html) 3. 『SFJ:Situational Functional Japanese Volume 3: Notes』(English version) 筑波ランゲージグループ、凡人社、1992年
参考書	1. 『わくわく文法リスニング 99 ワークシート 新装版 CD 付』小林典子他、凡人社、2010年
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	オフィスアワー:木曜 15 時 15 分~16 時 30 分(大会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)

Course	Comprehensive Japanese 3 A
Course No.	3901232
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue/Wed/Thu/Fri3
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 17, "NEJ vol. 2" Unit 17 Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 18 to 20, "NEJ vol. 2" Units 18 to 20, Midterm test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 21 to 24, "NEJ vol. 2" Units 21 to 24, Final test, Presentation
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N201 or N202 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Skits 10% Presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1 Preview the Master Text prior to the start of each unit 2 Write essays based on the Master Text 3 Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『初級日本語 Basic Japanese(in house ed.) Lesson17-Lesson24 2. 『NEJ:A New Approach To Elementary Japanese テーマで学ぶ基礎日本語』西口光一、くろしお出版、2012年 (http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html) 3. 『SFJ:Situational Functional Japanese Volume 3: Notes』(English version) 筑波ランゲージグループ、凡人社、1992年
Reference book(s)	1. 『わくわく文法リスニング 99 ワークシート 新装版 CD 付』小林典子他、凡人社、2010年
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--

授業科目名	総合日本語 3B
科目番号	3901242
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火・水・木・金 3
担当教員	木戸 光子
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、『Basic Japanese(学内版)』17 課、『NEJ vol. 2』17 課 第2週～第7週:『Basic Japanese(学内版)』18 課～20 課、『NEJ vol. 2』A、中間テスト 第8週～第15週:『Basic Japanese(学内版)』21 課～24 課、『NEJ vol. 2』21 課～24 課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語2 修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること
成績評価方法	作文 10% スキット 10% プレゼンテーション 10% ユニットクイズ 15% 中間テスト 15% 期末テスト 40%
授業外における学習方法	1 各ユニット開始前にマスターテキストをしっかりと予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『初級日本語 Basic Japanese(in house ed.) Lesson17-Lesson24』 2. 『NEJ:A New Approach To Elementary Japanese テーマで学ぶ基礎日本語』西口光一、くろしお出版、2012 年 (http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html) 3. 『SFJ:Situational Functional Japanese Volume 3: Notes』(English version) 筑波ランゲージグループ、凡人社、1992 年
参考書	1. 『わくわく文法リスニング 99 ワークシート 新装版 CD 付』小林典子他、凡人社、2010 年
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	オフィスアワー:木曜 15 時 15 分~16 時 30 分(大会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)

Course	Comprehensive Japanese 3 B
Course No.	3901242
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue/Wed/Thu/Fri3
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文や段落で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや複雑な文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 17, "NEJ vol. 2" Unit 17 Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 18 to 20, "NEJ vol. 2" Units 18 to 20, Midterm test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 21 to 24, "NEJ vol. 2" Units 21 to 24, Final test, Presentation
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N201 or N202 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Skits 10% Presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1 Preview the Master Text prior to the start of each unit 2 Write essays based on the Master Text 3 Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『初級日本語 Basic Japanese(in house ed.) Lesson17-Lesson24』 2. 『NEJ:A New Approach To Elementary Japanese テーマで学ぶ基礎日本語』西口光一、くろしお出版、2012年 (http://nihongo.9640.jp/books/NEJ/562.html) 3. 『SFJ:Situational Functional Japanese Volume 3: Notes』(English version) 筑波ランゲージグループ、凡人社、1992年
Reference book(s)	1. 『わくわく文法リスニング 99 ワークシート 新装版 CD 付』小林典子他、凡人社、2010年
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--

授業科目名	総合日本語 4 演習 A
科目番号	3901252
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 4
担当教員	小林 真紀子
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教室外で出会った言葉についての紹介する。 ・テーマに沿ってディスカッションする。 ・興味があるテーマについて日本語でインタビューし、結果をクラスで共有する。 ・調べたことについてまとめ、発表する。 <p>第 1 回オリエンテーション、口頭レベルチェックをする</p>
履修条件	総合日本語 4 レベル
成績評価方法	<p>最終口頭発表 50%</p> <p>課題・提出物 30%</p> <p>クラス参加度 20%</p>
授業外における学習方法	必要な情報収集のための準備
教科書	プリントを配布する
参考書	
受講生に望むこと	<ol style="list-style-type: none"> 1) 課題は必ず期日内に提出すること 2) 授業には必ず辞書を持ってくること 3) 他の学生との協働作業に積極的に取り組むこと 4) 授業外でも積極的に日本語を使ってほしい。
その他	場合によって manaba を使う。受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 4 Seminar A
Course No.	3901252
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed4
Instructor	Makiko Kobayashi
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	<ul style="list-style-type: none"> • Activities include introducing words learned outside of the classroom. • discussions on assigned themes • Interviewing a Japanese and sharing the results in class. • Creating a report based on one's research, and oral presentation with Q&A. 1.Orientation, Oral level check test
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 4
Grading policy	Final Oral presentation 50% Assignment and works 30% Class participation 20%
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	Handouts
Reference book(s)	
Student requirements	1) Promptly submit assignments by the deadline. 2) Always bring a dictionary to class. 3) Be actively involved and contribute during group work with other students. 4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba manaba tools will be used in class on occasion. * Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 4 演習 B
科目番号	3901262
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 4
担当教員	小林 真紀子
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教室外で出会った言葉について紹介する。 ・テーマに沿ってディスカッションする。 ・興味があるテーマについて日本語でインタビューし、結果をクラスで共有する。 ・調べたことについてまとめ、発表する <p>第 1 回オリエンテーション、口頭レベルチェックをする</p>
履修条件	総合日本語 4 レベル
成績評価方法	<p>最終口頭発表 50%</p> <p>課題・提出物 30%</p> <p>クラス参加度 20%</p>
授業外における学習方法	必要な情報収集のための準備
教科書	プリントを配布する
参考書	
受講生に望むこと	<ol style="list-style-type: none"> 1) 課題は必ず期日内に提出すること 2) 授業には必ず辞書を持ってくること 3) 他の学生との協働作業に積極的に取り組むこと 4) 授業外でも積極的に日本語を使ってほしい。
その他	場合によって、manaba を使う。 受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 4 Seminar B
Course No.	3901262
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed4
Instructor	Makiko Kobayashi
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	<ul style="list-style-type: none"> • Activities include introducing words learned outside of the classroom. • discussions on assigned themes • Interviewing a Japanese and sharing the results in class. • Creating a report based on one's research, and oral presentation with Q&A. 1.Orientation, Oral level check test
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 4.
Grading policy	Final Oral presentation 50% Assignment and works 30% Class participation 20%
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	Handouts
Reference book(s)	
Student requirements	1) Promptly submit assignments by the deadline. 2) Always bring a dictionary to class. 3) Be actively involved and contribute during group work with other students. 4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba manaba tools will be used in class on occasion. * Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 5 演習 A
科目番号	3901272
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 3
担当教員	長戸 三成子
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション 第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。 うち 1 回テストあり。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。 第 1 回
履修条件	総合日本語 5 レベル
成績評価方法	文章表現課題 40% 口頭表現課題 40% 平常点 20%
授業外における学習方法	必要な情報収集を行う。
教科書	新学期に購入する。初回授業で教科書名を指示する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1) 課題は必ず期日内に提出すること 2) 授業には必ず辞書を持ってくること 3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること 4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	manaba や SNS を使用する 受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Seminar A
Course No.	3901272
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed3
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * A test will be given once within the semester. * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Written assignment 40% Oral presentation 40% Attendance and participation 20%
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	To be purchased at the start of the semester. The textbook will be announced on the first day of classes.
Reference book(s)	Will be introduced in class as necessary.
Student requirements	1) Promptly submit assignments by the deadline. 2) Always bring a dictionary to class. 3) Be actively involved and contribute during group work with other students. 4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, and SNS will be used in class. * Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 5 演習 B
科目番号	3901282
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 3
担当教員	長戸 三成子
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション 第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。 うち 1 回テストあり。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 5 レベル
成績評価方法	文章表現課題 30% 口頭表現課題 30% テスト 30% 平常点 10%
授業外における学習方法	必要な情報収集を行う。
教科書	新学期に購入する。初回授業で教科書名を指示する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1) 課題は必ず期日内に提出すること 2) 授業には必ず辞書を持ってくること 3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること 4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	manaba や SNS を使用する 受講生の人数によって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 5 Seminar B
Course No.	3901282
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed3
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * A test will be given once within the semester. * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Written assignment 40% Oral presentation 40% Attendance and participation 20%
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	To be purchased at the start of the semester. The textbook will be announced on the first day of classes.
Reference book(s)	Will be introduced in class as necessary.
Student requirements	1) Promptly submit assignments by the deadline. 2) Always bring a dictionary to class. 3) Be actively involved and contribute during group work with other students. 4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, and SNS will be used in class. * Class content may be adjusted according to the number of students enrolled.

授業科目名	総合日本語 6 文法 A
科目番号	3901292
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 2
担当教員	平形 裕紀子
授業概要	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	中級後半レベルの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解などが正確にできるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 教科書 13 課~24 課を学習、第 8 週 中間テスト、第 15 週 期末テスト
履修条件	総合日本語 5 レベルが終わったぐらいの日本語力があること。5 レベル終わったぐらいの文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	授業参加度 20%、宿題 20%、中間・期末テスト 60%
授業外における学習方法	宿題 (学習した文章、文法の復習)
教科書	1. 『レベルアップ日本語文法』許明子、宮崎恵子著 くろしお出版
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。宿題提出は manaba で行う。

Course	Comprehensive Japanese 6 Grammar A
Course No.	3901292
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue2
Instructor	Yukiko Hirakata
Course Overview	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of upper intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check Weeks 2 to 14:Study of essential grammar for composition-writing and reading comprehension (L13-24) Week 15: Wrap-up (Midterm test in Week 8 and Final test in Week 15)
Prerequisites	Students should have completed Comprehensive Japanese 5 or possess an equivalent level of grammar knowledge.
Grading policy	Class participation 20%, Homework 20%, Midterm/Final test 60%
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. 『レベルアップ日本語文法』許明子、宮崎恵子著 ころしお出版
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Review past lessons and promptly hand in homework.
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level. Submission of homework will be done through the Tsukuba online learning tool, manaba.

授業科目名	総合日本語 6 文法 B
科目番号	3901302
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 2
担当教員	平形 裕紀子
授業概要	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	中級後半レベルの文法項目をマスターし、日本語での作文および読解などが正確にできるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週 オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週 教科書 13 課~24 課を学習、第 8 週 中間テスト、第 15 週 期末テスト
履修条件	総合日本語 5 レベルが終わったぐらいの日本語力があること。5 レベル終わったぐらいの文法の知識と運用力があること。
成績評価方法	授業参加度 20%、宿題 20%、中間・期末テスト 60%
授業外における学習方法	宿題 (学習した文章、文法の復習)
教科書	1. 『レベルアップ日本語文法』許明子、宮崎恵子著 くろしお出版
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	授業で学習したことをよく復習して、宿題・課題を必ず提出すること。
その他	受講者のレベルに合わせ、授業を柔軟に行う。宿題提出は manaba で行う。

Course	Comprehensive Japanese 6 Grammar B
Course No.	3901302
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue2
Instructor	Yukiko Hirakata
Course Overview	中級後半~上級レベルの文法を学び、使えるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of upper intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check Weeks 2 to 14:Study of essential grammar for composition-writing and reading comprehension (L13-24 of the text) Week 15: Wrap-up (Midterm test in Week 8 and Final test in Week 15)
Prerequisites	Students should have completed Comprehensive Japanese 5 or possess an equivalent level of grammar knowledge.
Grading policy	Class participation 20%, Homework 20%, Midterm/Final test 60%
Study outside of class	Homework (Studied text, grammar practice)
Textbook(s)	1. 『レベルアップ日本語文法』許明子、宮崎恵子著 ころしお出版
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Review past lessons and promptly hand in homework.
Others	Lessons will be conducted appropriate to the students' level. Submission of homework will be done through the Tsukuba online learning tool, manaba.

授業科目名	総合日本語 6 話す聞く A
科目番号	3901312
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 金 2
担当教員	堀 恵子
授業概要	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。 ・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。 ・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション第 2~15 週:スケジュールに基づき授業を行う。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 5 を終わったレベル
成績評価方法	テスト 50%、課題、提出物 30% 積極的な参加 20% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	宿題
教科書	1. 配付資料
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	積極的に、自主的に準備、課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語を使ってほしい。授業以外にも積極的にテレビやラジオを聞く努力をしてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応していく。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Comprehensive Japanese 6 Speaking and Listening A
Course No.	3901312
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Fri2
Instructor	Keiko Hori
Course Overview	<ul style="list-style-type: none"> ・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。 ・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。 ・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students can speak using appropriate styles according to the situation and the person they are speaking to. ・ They can engage in discussion about topics from everyday, familiar things to abstract ideas while aware of the person they are speaking to. ・ They can accurately pick up necessary information. They can also understand the flow of conversation and make inferences. ・ They can listen and understand either familiar or relatively specialized topics and share their thoughts and give their opinion about these.
Schedule	<p>Week 1: Orientation</p> <p>Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class</p> <p>* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.</p>
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Tests 50%, Assignments and submitted work 30%, Class participation 20% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Homework
Textbook(s)	1. 配付資料
Reference book(s)	To be introduced as necessary.
Student requirements	<p>Students are expected to be active and independently prepare to handle tasks.</p> <p>They are also expected to use Japanese as much as they can outside of the classroom and make an effort to watch TV and listen to the radio on their own.</p>
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary. Handouts will be given each meeting so students should prepare a folder for these.

授業科目名	総合日本語 6 話す聞く B
科目番号	3901322
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 金 2
担当教員	堀 恵子
授業概要	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。 ・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。 ・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 5 を終わったレベル
成績評価方法	テスト 50%、課題、提出物 30% 積極的な参加 20% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	宿題
教科書	1. 配付資料
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	積極的に、自主的に準備、課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語を使ってほしい。授業以外にも積極的にテレビやラジオを聞く努力をしてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応していく。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Comprehensive Japanese 6 Speaking and Listening B
Course No.	3901322
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Fri2
Instructor	Keiko Hori
Course Overview	<ul style="list-style-type: none"> ・場面、相手に合った適切なスタイルで話すことができる。 ・日常的で身近な話題から最終的には抽象的な話題において聞き手を意識したディスカッションができる。 ・必要な情報を正確に聞き取りとることができる。また、推測を加えて話しの流れが理解できる。 ・身近な話からやや専門性の高いものを聞き、理解したこと、考えたことを的確に口頭で伝え、自分の意見を話すことができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students can speak using appropriate styles according to the situation and the person they are speaking to. ・ They can engage in discussion about topics from everyday, familiar things to abstract ideas while aware of the person they are speaking to. ・ They can accurately pick up necessary information. They can also understand the flow of conversation and make inferences. ・ They can listen and understand either familiar or relatively specialized topics and share their thoughts and give their opinion about these.
Schedule	<p>Week 1: Orientation</p> <p>Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class</p> <p>* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.</p>
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 5.
Grading policy	Tests 50%, Assignments and submitted work 30%, Class participation 20% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Homework
Textbook(s)	1. 配付資料
Reference book(s)	To be introduced as necessary.
Student requirements	<p>Students are expected to be active and independently prepare to handle tasks.</p> <p>They are also expected to use Japanese as much as they can outside of the classroom and make an effort to watch TV and listen to the radio on their own.</p>
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary. Handouts will be given each meeting so students should prepare a folder for these.

授業科目名	総合日本語 6 読む書く A
科目番号	3901332
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 木 2
担当教員	中山 健一
授業概要	・文章の内容を正しく理解する。・読んだものについて、理解、考えを深める。・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。・自分の読み方を振り返る。・読むこと、書くことを楽しめるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	・新聞記事、エッセイ、物語などの文章の内容を正しく理解できる。 ・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に伝えることができる。 ・書くために必要な語彙・表現・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション、レベルチェック 第 2~14 週:読解と内容理解質問、書くための語彙・表現・文型の練習、作文練習 第 15 週:期末テスト(筆記テストと作文)
履修条件	社会的なテーマに関する文章を読んで理解できる程度の読解力と、それを表現できる作文力と漢字・語彙力が必要。日本語能力検定 N2 レベル程度。
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	読み物についての理解を深めるため、各自で背景知識について情報収集することが望ましい。
教科書	プリント教材
参考書	なし
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 6 Reading and Writing A
Course No.	3901332
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu2
Instructor	Kenichi Nakayama
Course Overview	・文章の内容を正しく理解する。・読んだものについて、理解、考えを深める。・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。・自分の読み方を振り返る。・読むこと、書くことを楽しめるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to: <ul style="list-style-type: none"> ・ correctly understand the content of readings such as news articles, essays, narratives, etc. ・ appropriately express both orally and in writing what they understood and thought about the reading ・ learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns for writing purposes
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 14: Reading comprehension and content questions; exercises on vocabulary, expressions, and sentence patterns for writing purposes; composition writing practice Week 15: Final test (Written test and composition writing)
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them to understand material with social themes, and have writing skills and knowledge of kanji and vocabulary to be able to write about these. Students' level must be equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test Level N2.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students are advised to gather background information on the readings on their own in order to deepen their understanding of the reading, .
Textbook(s)	Handouts
Reference book(s)	None
Student requirements	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly.
Others	

授業科目名	総合日本語 6 読む書く B
科目番号	3901342
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 木 2
担当教員	中山 健一
授業概要	・文章の内容を正しく理解する。・読んだものについて、理解、考えを深める。・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。・自分の読み方を振り返る。・読むこと、書くことを楽しめるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	・新聞記事、エッセイ、物語などの文章の内容を正しく理解できる。 ・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に伝えることができる。 ・書くために必要な語彙・表現・文型を学び、使えるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション、レベルチェック 第 2~14 週:読解と内容理解質問、書くための語彙・表現・文型の練習、作文練習 第 15 週:期末テスト(筆記テストと作文)
履修条件	社会的なテーマに関する文章を読んで理解できる程度の読解力と、それを表現できる作文力と漢字・語彙力が必要。日本語能力検定 N2 レベル程度。
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	読み物についての理解を深めるため、各自で背景知識について情報収集することが望ましい。
教科書	プリント教材
参考書	なし
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出するようにしてほしい。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 6 Reading and Writing B
Course No.	3901342
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu2
Instructor	Kenichi Nakayama
Course Overview	・文章の内容を正しく理解する。・読んだものについて、理解、考えを深める。・読んだものについて、理解したこと、考えたことを的確に口頭および文章で伝えることができる。・語彙・表現・文法・文型を学び、使えるようになる。・自分の読み方を振り返る。・読むこと、書くことを楽しめるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to: <ul style="list-style-type: none"> ・ correctly understand the content of readings such as news articles, essays, narratives, etc. ・ appropriately express both orally and in writing what they understood and thought about the reading ・ learn and use vocabulary, expressions, grammar, and sentence patterns for writing purposes
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 14: Reading comprehension and content questions; exercises on vocabulary, expressions, and sentence patterns for writing purposes; composition writing practice Week 15: Final test (Written test and composition writing)
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them to understand material with social themes, and have writing skills and knowledge of kanji and vocabulary to be able to write about these. Students' level must be equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test Level N2.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students are advised to gather background information on the readings on their own in order to deepen their understanding of the reading, .
Textbook(s)	Handouts
Reference book(s)	None
Student requirements	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly.
Others	

授業科目名	総合日本語 6 演習 A
科目番号	3901352
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 2
担当教員	ブッシュネル ケード コンラン
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション 第 2~10 週:スケジュールに基づき授業を行う。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 6 レベル
成績評価方法	ディスカッションやディベートへの参加度 (12.5 × 4)50%、発表 (25 × 2)50%
授業外における学習方法	必要な情報収集を行う。
教科書	
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1) 課題は必ず期日内に準備すること 2) 授業には必ず辞書を持ってくること 3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること 4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	受講生の人数などによって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 6 Seminar A
Course No.	3901352
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed2
Instructor	Cade Conlan Bushnell
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will work to develop the skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes, and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 10: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6.
Grading policy	Participation and preparation for discussions and debates: 50%, Presentations: 50%
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	
Reference book(s)	Will be introduced in class as necessary.
Student requirements	1) Promptly prepare assignments by the deadline. 2) Always bring a dictionary to class. 3) Be actively involved and contribute during group work with other students. 4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled, etc.

授業科目名	総合日本語 6 演習 B
科目番号	3901362
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 2
担当教員	ブッシュネル ケード コンラン
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション 第 2~10 週:スケジュールに基づき授業を行う。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。
履修条件	総合日本語 6 レベル
成績評価方法	ディスカッションやディベートへの参加度 (12.5 × 4)50%、発表 (25 × 2)50%
授業外における学習方法	必要な情報収集を行う。
教科書	
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	1) 課題は必ず期日内に準備すること 2) 授業には必ず辞書を持ってくること 3) 他の学生との共同作業に積極的に貢献すること 4) 授業外でも積極的に日本語を使うこと
その他	受講生の人数などによって一部授業内容を変更することがある。

Course	Comprehensive Japanese 6 Seminar B
Course No.	3901362
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed2
Instructor	Cade Conlan Bushnell
Course Overview	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will work to develop skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes, and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 10: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6.
Grading policy	Participation and preparation for discussions and debates: 50%, Presentations: 50%
Study outside of class	Students must prepare and gather necessary information for class activities.
Textbook(s)	
Reference book(s)	Will be introduced in class as necessary.
Student requirements	1) Promptly prepare assignments by the deadline. 2) Always bring a dictionary to class. 3) Be actively involved and contribute during group work with other students. 4) Use Japanese outside of the classroom as much as you can.
Others	* Class content may be adjusted according to the number of students enrolled, etc.

授業科目名	総合日本語 7 文法 A
科目番号	3901372
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 1
担当教員	平形 裕紀子
授業概要	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の意味用法を自ら学ぶ力を養う。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	中級レベルまでの文法項目を確実にマスターし、日本語での作文および読解が正確にできるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキスト中から 4 課を選択して学習 (授業初日のレベルチェックの結果で選択)、第 8 週:中間試験、第 15 週:期末試験
履修条件	プレースメントテストで総合日本語 7 レベルに認定されていること。
成績評価方法	中間試験 30%、期末試験 40%、宿題実施 25%、出席・受講態度 5%
授業外における学習方法	教科書と練習問題プリントの予習・復習
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen + tax)
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	積極的に自習をすること。
その他	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けること。

Course	Comprehensive Japanese 7 Grammar A
Course No.	3901372
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue1
Instructor	Yukiko Hirakata
Course Overview	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の意味用法を自ら学ぶ力を養う。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on 4 capters (choose chapters at the first class according to the result of level check) Week 8: Midterm test Week 15: Final test
Prerequisites	Students should have been placed at Level N700 according to the placement test.
Grading policy	Midterm test 30%, Final test 40%, Homework 25%, Attendance and participation 5%
Study outside of class	Preview and review of textbook and practice problem handouts
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen + tax)
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Students are expected to be active learners.
Others	Students must have been placed in this level according to the placement test.

授業科目名	総合日本語 7 文法 B
科目番号	3901382
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 1
担当教員	平形 裕紀子
授業概要	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の意味用法を自ら学ぶ力を養う。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	中級レベルまでの文法項目を確実にマスターし、日本語での作文および読解が正確にできるようになる。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション・レベルチェック、第 2~14 週:テキスト中から 4 課を選択して学習 (授業初日のレベルチェックの結果で選択)、第 8 週:中間試験、第 15 週:期末試験
履修条件	プレースメントテストで総合日本語 7 レベルに認定されていること。
成績評価方法	中間試験 30%、期末試験 40%、宿題実施 25%、出席・受講態度 5%
授業外における学習方法	教科書と練習問題プリントの予習・復習
教科書	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen + tax)
参考書	授業内で紹介する。
受講生に望むこと	積極的に自習をすること。
その他	プレースメントテストを受験し、履修レベルの認定を受けること。

Course	Comprehensive Japanese 7 Grammar B
Course No.	3901382
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue1
Instructor	Yukiko Hirakata
Course Overview	日本語のミステリー小説を題材に、小説に使われている文法や文型を通して、文法の意味用法を自ら学ぶ力を養う。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to write compositions and read with a mastery of intermediate level grammar items.
Schedule	Week 1:Orientation/Level check Weeks 2 to 14:Study of grammar items and practice problems based on 4 capters (choose chapters at the first class according to the result of level check) Week 8: Midterm test Week 15: Final test
Prerequisites	Students should have been placed at Level N700 according to the placement test.
Grading policy	Midterm test 30%, Final test 40%, Homework 25%, Attendance and participation 5%
Study outside of class	Preview and review of textbook and practice problem handouts
Textbook(s)	1. TOBIRA: Gateway to Advanced Japanese (Kurioshio, 3300 yen + tax)
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Students are expected to be active learners.
Others	Students must have been placed in this level according to the placement test.

授業科目名	総合日本語 7 話す聞く A
科目番号	3901392
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 金 1
担当教員	酒井 たか子
授業概要	社会、文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。・日本文化、日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。・その話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。・上記の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	様々な社会、文化に関する話題を通して、聞く能力、話す能力を向上させる。 ・日本の社会や文化などについてのドラマ、ニュースなどのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。 ・上記の話題の内容をまとめ、わかりやすく説明することができる。 ・上記の話題について自分の意見をまとめ、他者に伝えることができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、第2週から第14週:番組等の視聴とグループディスカッションを行う(ただし、第8週は中間試験を予定)、第15週:期末試験
履修条件	総合日本語 7 以上 最低でも 70% 以上できること
成績評価方法	期末試験 40%、中間試験 30%、クラス活動・課題 30% 70% 以上出席し、課題をすべて行うこと。
授業外における学習方法	毎回 1~2 時間程度の授業準備が必要。manaba で宿題を課すので必ず事前に準備してから授業に臨むこと。
教科書	1. Handouts
参考書	なし
受講生に望むこと	このクラスでは、予習内容の他にも適宜さまざまなことに話が及ぶので、日本の諸側面に関して広く関心をもってほしい。
その他	受講者のレベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応していく。

Course	Comprehensive Japanese 7 Speaking and Listening A
Course No.	3901392
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Fri1
Instructor	Takako Sakai
Course Overview	社会,文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。・日本文化、日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。・その話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。・上記の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their speaking and listening abilities in relation to socio-cultural topics and be able to: <ul style="list-style-type: none"> ・ view and understand the content of television programs on Japanese society and culture. ・ make a summary and clearly explain what they watched. ・ form and relate to others their own opinion about what they watched.
Schedule	Week 1:Orientation Weeks 2 to 14:Viewing TV programs, etc and engaging in group discussions (Note: A midterm test is scheduled for Week 8) Week 15: Final test 1.
Prerequisites	Students should be in Level Comprehensive Japanese 7 or higher.
Grading policy	Final test 30%, Midterm test 20%, In-class activities 40%, Homework 10%
Study outside of class	Students are encouraged to do prior research about Japanese culture and current issues.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student requirements	In this class, since discussions span different topics as necessary apart from what should be previewed for the lesson, students must attune themselves to various aspects of Japan.
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary.

授業科目名	総合日本語 7 話す聞く B
科目番号	3901402
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 金 1
担当教員	酒井 たか子
授業概要	社会、文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。・日本文化、日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。・その話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。・上記の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	様々な社会、文化に関する話題を通して、聞く能力、話す能力を向上させる。 ・日本の社会や文化などについてのドラマ、ニュースなどのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。 ・上記の話題の内容をまとめ、わかりやすく説明することができる。 ・上記の話題について自分の意見をまとめ、他者に伝えることができる。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、第2週から第14週:番組等の視聴とグループディスカッションを行う(ただし、第8週は中間試験を予定)、第15週:期末試験 第1回
履修条件	総合日本語 7 以上
成績評価方法	期末試験 40%、中間試験 30%、クラス活動 30%
授業外における学習方法	毎回 1~2 時間程度の授業準備が必要。manaba で宿題を課すので必ず事前に準備してから授業に臨むこと。
教科書	1. Handouts
参考書	なし
受講生に望むこと	このクラスでは、予習内容の他にも適宜さまざまなことに話が及ぶので、日本の諸側面に関して常にアンテナを張るようにすること。
その他	受講者のレベルやニーズに合わせて、練習やタスクと課題を変えながら柔軟に対応していく。

Course	Comprehensive Japanese 7 Speaking and Listening B
Course No.	3901402
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Fri1
Instructor	Takako Sakai
Course Overview	社会,文化に関する話題について、次のような話す/聞く活動ができる。・日本文化、日本社会、時事問題についてのテレビ番組等を視聴し、その内容を理解する。・その話題について、内容をまとめ、他者にわかりやすく説明することができる。・上記の話題について自分の意見をまとめ他者に伝えることができる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their speaking and listening abilities in relation to socio-cultural topics and be able to: <ul style="list-style-type: none"> ・ view and understand the content of television programs on Japanese society and culture. ・ make a summary and clearly explain what they watched. ・ form and relate to others their own opinion about what they watched.
Schedule	Week 1:Orientation Weeks 2 to 14:Viewing TV programs, etc and engaging in group discussions (Note: A midterm test is scheduled for Week 8) Week 15: Final test 1.
Prerequisites	Students should be in Level Comprehensive Japanese 7 or higher.
Grading policy	Final test 30%, Midterm test 20%, In-class activities 40%, Homework 10%
Study outside of class	Students are encouraged to do prior research about Japanese culture and current issues.
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student requirements	In this class, since discussions span different topics as necessary apart from what should be previewed for the lesson, students must attune themselves to various aspects of Japan.
Others	The class will be flexible according to the students' level and needs and changes will be made to exercises, tasks, and assignments as necessary.

授業科目名	総合日本語 7 読む書く A
科目番号	3901412
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 木 1
担当教員	木戸 光子
授業概要	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事や随筆や文学を読み、内容を理解して適切な要約ができる。 ・読み物を読んで、それについて根拠に基づく意見文や小論文が書ける。 ・読み手を意識した分かりやすい構成の文章が書ける。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、レベルチェック 第2~14週:読解と要約、書くための表現練習、作文練習 第15週:期末テスト(筆記テストと小論文)
履修条件	日本語の新聞記事が読める程度の読解力と、それを表現する作文力、漢字・語彙力が必要。日本語能力試験 N1 程度のレベルが望ましい。
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集
教科書	授業開始時に指示する。
参考書	授業時に紹介する。
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出してほしい。授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。
その他	受講者の状況により授業内容を変更することがある。 オフィスアワー:木曜 15 時 15 分~16 時 30 分(大学会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)

Course	Comprehensive Japanese 7 Reading and Writing A
Course No.	3901412
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu1
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to: <ul style="list-style-type: none"> • read and understand the content of news articles, essays, literary works, etc. and write appropriate summaries for them • read material then write an opinion essay or short paper about it based on evidence. • write a clear, well-structured composition mindful of their target reader.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 14: Reading and summarizing, writing exercises, composition writing practice Week 15: Final test (Written test and essay writing)
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them to understand news articles, and have writing skills and knowledge of kanji and vocabulary to be able to write about these. A level equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test Level N1 is desirable.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students should always preview and review lessons, complete and submit homework, and gather background information on the readings.
Textbook(s)	The textbook will be announced when classes start.
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly. Students are expected to actively participate and to speak out during activities such as pair work.
Others	The class content may change subject to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 7 読む書く B
科目番号	3901422
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 木 1
担当教員	木戸 光子
授業概要	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事や随筆や文学を読み、内容を理解して適切な要約ができる。 ・読み物を読んで、それについて根拠に基づく意見文や小論文が書ける。 ・読み手を意識した分かりやすい構成の文章が書ける。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、レベルチェック 第2~14週:読解と要約、書くための表現練習、作文練習 第15週:期末テスト(筆記テストと小論文)
履修条件	日本語の新聞記事が読める程度の読解力と、それを表現する作文力、漢字・語彙力が必要。日本語能力試験 N1 程度のレベルが望ましい。
成績評価方法	課題作文 30%、中間テスト 30%、期末テスト 40%
授業外における学習方法	毎回の予習と復習、宿題の提出、読み物の背景知識に関する情報収集
教科書	授業開始時に指示する。
参考書	授業時に紹介する。
受講生に望むこと	課題作文は宿題として出されるので、必ず提出してほしい。授業ではペアワークなどの活動を取り入れるので積極的に参加し、発言してほしい。
その他	受講者の状況により授業内容を変更することがある。 オフィスアワー:木曜 15 時 15 分~16 時 30 分(大学会館 C 棟 1 階 日本語教員控室)

Course	Comprehensive Japanese 7 Reading and Writing B
Course No.	3901422
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu1
Instructor	Mitsuko Kido
Course Overview	日本語の新聞記事が理解でき、適切な要約ができる。記事の語彙を用いて最近の日本の事情や自国との比較などについて意見交換ができる。読み手を意識した、明瞭な文章が書ける。目的に合った文体と構成の文章が書ける。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to: <ul style="list-style-type: none"> • read and understand the content of news articles, essays, literary works, etc. and write appropriate summaries for them • read material then write an opinion essay or short paper about it based on evidence. • write a clear, well-structured composition mindful of their target reader.
Schedule	Week 1: Orientation/Level check Weeks 2 to 14: Reading and summarizing, writing exercises, composition writing practice Week 15: Final test (Written test and essay writing)
Prerequisites	Students are required to possess reading comprehension skills that allows them to understand news articles, and have writing skills and knowledge of kanji and vocabulary to be able to write about these. A level equivalent to the Japanese-Language Proficiency Test Level N1 is desirable.
Grading policy	Compositions 30%, Midterm test 30%, Final test 40%
Study outside of class	Students should always preview and review lessons, complete and submit homework, and gather background information on the readings.
Textbook(s)	The textbook will be announced when classes start.
Reference book(s)	To be introduced in class.
Student requirements	Compositions are assigned as homework and must be submitted accordingly. Students are expected to actively participate and to speak out during activities such as pair work.
Others	The class content may change subject to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 7 演習 A
科目番号	3901432
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 1
担当教員	山田 野絵
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	日本社会に役立つ企画を立案するプロジェクトワークを行う。企画提案をするために効果的な発表を行う。 第 1 回
履修条件	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。日本語能力試験 N1 級程度
成績評価方法	授業への取り組み 30%, 口頭表現課題 50%, 文章表現課題 20%
授業外における学習方法	企画立案のための資料集めや発表準備等
教科書	
参考書	
受講生に望むこと	課題は基本的にグループワークで行うため、積極的、協力的な態度で参加すること
その他	場合によって筑波大学 manaba を使う。

Course	Comprehensive Japanese 7 Seminar A
Course No.	3901432
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed1
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	In this course, students will develop the skills and ability with the Japanese language necessary for attending college classes in Japan. Additionally, students will improve their overall proficiency in using Japanese.
Remarks	Foreign students who are tokubetsu chokougakusei (gakugun or undergraduate) may attend.
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Students will complete projects which propose plans of use to Japanese society. They will also make effective presentations outlining their plans. 1.
Prerequisites	Exchange students who are tokubetsu chokougakusei (gakugun or undergraduate students) can join the class. Please inquire at the International Student Center for details. Student's level must be Japanese-Language Proficiency Test Level N1 or its equivalent.
Grading policy	Class participation 30%, Oral expression assignments 50%, Writing assignments 20%
Study outside of class	Collection of data and materials necessary for putting together the plan proposals, preparations for presentations, etc.
Textbook(s)	
Reference book(s)	
Student requirements	Since the assignments will generally be done in groups, students are expected to participate fully and maintain cooperative attitudes.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, will be used in class on occasion.

授業科目名	総合日本語 7 演習 B
科目番号	3901442
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 1
担当教員	山田 野絵
授業概要	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	大学の授業を受講するにあたり必要な日本語力およびスキルを身につけ、全般的な日本語運用力を高める。
授業の概要・計画	日本社会に役立つ企画を立案するプロジェクトワークを行う。企画提案をするために効果的な発表を行う。 第 1 回
履修条件	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。詳細は留学生センターに確認すること。日本語能力試験 N1 級程度
成績評価方法	授業への取り組み 30%, 口頭表現課題 50%, 文章表現課題 20%
授業外における学習方法	企画立案のための資料集めや発表準備等
教科書	
参考書	
受講生に望むこと	課題は基本的にグループワークで行うため、積極的、協力的な態度で参加すること
その他	場合によって筑波大学 manaba を使う。

Course	Comprehensive Japanese 7 Seminar B
Course No.	3901442
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed1
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	In this course, students will develop the skills and ability with the Japanese language necessary for attending college classes in Japan. Additionally, students will improve their overall proficiency in using Japanese.
Remarks	Foreign students who are tokubetsu chokougakusei (gakugun or undergraduate) may attend.
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be able to develop skills and Japanese proficiency necessary for attending college classes and strengthen their overall Japanese abilities.
Schedule	Students will complete projects which propose plans of use to Japanese society. They will also make effective presentations outlining their plans. 1.
Prerequisites	Exchange students who are tokubetsu chokougakusei (gakugun or undergraduate students) can join the class. Please inquire at the International Student Center for details. Student's level must be Japanese-Language Proficiency Test Level N1 or its equivalent.
Grading policy	Class participation 30%, Oral expression assignments 50%, Writing assignments 20%
Study outside of class	Collection of data and materials necessary for putting together the plan proposals, preparations for presentations, etc.
Textbook(s)	
Reference book(s)	
Student requirements	Since the assignments will generally be done in groups, students are expected to participate fully and maintain cooperative attitudes.
Others	The Tsukuba online learning tool, manaba, will be used in class on occasion.

授業科目名	様々な日本語 IA
科目番号	3901452
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 月 5
担当教員	石田 麻実
授業概要	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	方言をはじめ、男女・世代、立場・キャラクターによる表現・ことばなど、日本語のバリエーションに触れる。川柳などを通して日本語のリズムを楽しむ。 日本語に対する知識を深める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。 課題、成果物提出、クイズあり。 「旅行で役に立つ方言集」を作成する。グループで調べた方言についても発表する。 ドラマ、アニメを使用することもある。
履修条件	総合日本語 4、5 レベルの学生
成績評価方法	成果物の完成度(発表を含む) 30%、クイズ 30%、課題(宿題)30% 積極的な取り組み 10% (ただし、70%以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	宿題(予習・復習)
教科書	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に調べ、課題を遂行することを期待するため、受講生には柔軟性を持ち、積極的に課題に取り組んでほしい。 ・グループワークにおいても自主的に、積極的に、協調性をもって取り組んでほしい。 ・教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受講希望者は第1回目の授業に出席すること。 ・受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。 ・毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Varieties of Japanese I A
Course No.	3901452
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon5
Instructor	Mami Ishida
Course Overview	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will learn about variations of the Japanese language including dialects and expressions and vocabulary according to gender, social positions, and character. They can enjoy discovering Japanese rhythm through poetry like senryu, further deepening their knowledge of the language.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes. * Students will complete and submit tasks and assignments. * Students will create a compilation of useful words and phrase of Japanese dialects for travelers. They will also make a presentation about it in groups. * TV dramas and animation will be used as learning material.
Prerequisites	Students must be in Comprehensive Japanese 4 or in Level 5.
Grading policy	Class performance (including oral presentation) 30%, Quizzes 30%、Assignments (Homework) 30%, Active participation 10% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Homework (Preview and review)
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	To be given as necessary
Student requirements	<ul style="list-style-type: none"> • It is hoped that students show flexibility and actively tackle assignments as they are expected to work independently in research and carrying out tasks. • They are expected to be independent, active, and cooperative in group work. • They will also be expected to use Japanese as much as they can outside of the classroom.
Others	<ul style="list-style-type: none"> • Attendance to the first meeting is a must for those who intend to enrol in the course. • The class content may change according to the number of enrolled students, their level and needs. • Students should keep a folder for filing handouts which will be distributed every meeting.

授業科目名	様々な日本語 IB
科目番号	3901462
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 月 5
担当教員	石田 麻実
授業概要	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	方言をはじめ、男女・世代、立場・キャラクターによる表現・ことばなど、日本語のバリエーションに触れる。川柳などを通して日本語のリズムを楽しむ。 日本語に対する知識を深める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。 課題、成果物提出、クイズあり。 「(旅行で役に立つ)方言集」を作成する。グループで調べた方言についても発表する。 ドラマ、アニメを使用することもある。
履修条件	総合日本語 4、5 レベルの学生
成績評価方法	成果物の完成度(発表を含む) 30%、クイズ 30% 課題(宿題)30% 積極的な取り組み 10% (ただし、70%以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	宿題(予習・復習)
教科書	1. Handouts
参考書	必要時に紹介する
受講生に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に調べ、課題を遂行することを期待するため、受講生には柔軟性を持ち、積極的に課題に取り組んでほしい。 ・グループワークにおいても自主的に、積極的に、協調性をもって取り組んでほしい。 ・教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受講希望者は第1回目の授業に出席すること。 ・受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。 ・毎回プリントを配布するので、受講者はファイルをしておくこと。

Course	Varieties of Japanese I B
Course No.	3901462
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon5
Instructor	Mami Ishida
Course Overview	方言をはじめ、世代、立場、キャラクターによる表現・ことばなど、様々な日本語に触れ、日本語を楽しむ。日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will learn about variations of the Japanese language including dialects and expressions and vocabulary according to gender, social positions, and character. They can enjoy discovering Japanese rhythm through poetry like senryu, further deepening their knowledge of the language.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes. * Students will complete and submit tasks and assignments. * Students will create a compilation of useful words and phrase of Japanese dialects for travelers. They will also make a presentation about it in groups. * TV dramas and animation will be used as learning material.
Prerequisites	Students must be in Comprehensive Japanese 4 or in Level 5.
Grading policy	Class performance (including oral presentation) 30%, Quizzes 30%、Assignments (Homework) 30%, Active participation 10% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	
Textbook(s)	Homework (Preview and review) 1. Handouts
Reference book(s)	To be given as necessary
Student requirements	<ul style="list-style-type: none"> • It is hoped that students show flexibility and actively tackle assignments as they are expected to work independently in research and carrying out tasks. • They are expected to be independent, active, and cooperative in group work. • They will also be expected to use Japanese as much as they can outside of the classroom.
Others	<ul style="list-style-type: none"> • Attendance to the first meeting is a must for those who intend to enrol in the course. • The class content may change according to the number of enrolled students, their level and needs. • Students should keep a folder for filing handouts which will be distributed every meeting.

授業科目名	様々な日本語 IIA
科目番号	3901472
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 月 5
担当教員	小野 正樹
授業概要	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日本語の古語や方言に触れ、現代日本語に対する知識を深めると同時に、自国の言語についても理解を進める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。 課題提出、テストあり。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。 第1回
履修条件	総合日本語 6、7 レベルの学生
成績評価方法	最終レポート 80% 積極的な取り組み 20% (ただし、70%以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	予習・復習をする
教科書	1. Handouts will be given out.
参考書	佐治敬三・真田信治監修(1996)『日本語教師養成シリーズ 日本語と社会』、東京法令出版 益岡隆志編(2011)『はじめて学ぶ日本語学 言葉の奥深さを知る 15章』、ミネルヴァ書房 宮地裕編(2010)『日本語と日本語教育のための日本語学入門』、明治書院
受講生に望むこと	積極的に課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルしておくこと。

Course	Varieties of Japanese II A
Course No.	3901472
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Mon5
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will deepen their understanding of the Japanese language as they enjoy learning about different genres and uses of the language.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * There will be assignments and tests. * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Assignments 30%, Tests 30%, Homework 20%, Class participation 20% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Preview and review lessons.
Textbook(s)	1. Handouts will be given out.
Reference book(s)	Will be introduced as necessary.
Student requirements	Students are expected to be active in handling tasks. They are also expected to use Japanese as much as they can outside of the classroom.
Others	Class content may be adjusted according to the level, needs, and the number of students enrolled. Students should keep a folder for filing handouts which will be distributed every meeting.

授業科目名	様々な日本語 IIB
科目番号	3901482
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 月 5
担当教員	小野 正樹
授業概要	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日本語の古語や方言に触れ、現代日本語に対する知識を深めると同時に、自国の言語についても理解を進める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。 課題提出、テストあり。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。 第1回
履修条件	総合日本語 6、7 レベルの学生
成績評価方法	最終レポート 80% 積極的な取り組み 20% (ただし、70%以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	予習・復習をする
教科書	1. Handouts will be given out.
参考書	佐治敬三・真田信治監修(1996)『日本語教師養成シリーズ 日本語と社会』、東京法令出版 益岡隆志編(2011)『はじめて学ぶ日本語学 言葉の奥深さを知る 15章』、ミネルヴァ書房 宮地裕編(2010)『日本語と日本語教育のための日本語学入門』、明治書院
受講生に望むこと	積極的に課題に取り組んでほしい。教室の外でも積極的に日本語に触れてほしい。
その他	受講者の人数、レベルやニーズに合わせて、内容が変更する場合がある。毎回プリントを配布するので、受講者はファイルしておくこと。

Course	Varieties of Japanese II B
Course No.	3901482
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Mon5
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	様々なジャンルや目的の日本語に触れ、日本語を楽しみ、日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will deepen their understanding of the Japanese language as they enjoy learning about different genres and uses of the language.
Schedule	Week 1: Orientation Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class * There will be assignments and tests. * A detailed schedule will be handed out on the first day of classes. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Assignments 30%, Tests 30%, Homework 20%, Class participation 20% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Preview and review lessons.
Textbook(s)	1. Handouts will be given out.
Reference book(s)	Will be introduced as necessary.
Student requirements	Students are expected to be active in handling tasks. They are also expected to use Japanese as much as they can outside of the classroom.
Others	Class content may be adjusted according to the level, needs, and the number of students enrolled. Students should keep a folder for filing handouts which will be distributed every meeting.

授業科目名	制作日本語 IA
科目番号	3901532
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 5
担当教員	長戸 三成子
授業概要	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作成を目標とする。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生 (学群) が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	制作日本語 II で演劇発表をすることを目標に、制作日本語 I では日本の昔話を通して、まとまったストーリーを観たり読んだりして理解し、それを音声に気を付けて朗読できるようにすることを目指す。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション・自己紹介、第 2~5 週:日本の昔話を観たり読んだりする、第 6~10 週:自分の国の物語を日本語で紹介する、第 11~15 週:グループに分かれて、朗読する物語と朗読するパートを決め、練習を重ね、最後に録音する
履修条件	総合日本語 4,5 レベル
成績評価方法	授業参加態度 30% 成果物 40% 課題 30% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	分からない言葉を調べる、自国の物語を分かりやすい日本語にする
教科書	1. Handouts
参考書	特になし
受講生に望むこと	グループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること
その他	*受講希望者は第 1 週に必ず出席すること *授業内容は受講者の人数・レベルにより変更の可能性あり

Course	Japanese Project I A
Course No.	3901532
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed5
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作成を目標とする。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	This course aims to develop students' understanding of certain amount of stories in Japanese using Japanese old tales, at the end of the course students take roles in a story to read aloud in a group, with the ultimate goal of performing a play on a stage in Japanese Project II.
Schedule	Week 1: Orientation, self-introduction Weeks 2 to 5: Watch or read some interesting Japanese old tales Weeks 6 to 10: Introduce students' native old tale in Japanese Weeks 11 to 15: Group work choose a story, decide casting, practice recitation and record the story
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4 or 5.
Grading policy	Class participation 30%, Final project 40%, Assignments 30% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	study new vocabulary words, translate students' native stories in Japanese
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student requirements	Students must be active and cooperative within a group
Others	* Those who intend to enrol must attend the first meeting. * Class content may be adjusted according to the level and the number of students enrolled.

授業科目名	制作日本語 IB
科目番号	3901542
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 5
担当教員	長戸 三成子
授業概要	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作成を目標とする。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	制作日本語 II で演劇発表をすることを目標に、制作日本語 I では日本の昔話を通して、まとまったストーリーを観たり読んだりして理解し、それを音声に気を付けて朗読できるようにすることを目指す。
授業の概要・計画	第 1 週:オリエンテーション・自己紹介、第 2~5 週:日本の昔話を観たり読んだりする、第 6~10 週:自分の国の物語を日本語で紹介する、第 11~15 週:グループに分かれて、朗読する物語と朗読するパートを決め、練習を重ね、最後に録音する
履修条件	総合日本語 4,5 レベル
成績評価方法	授業参加態度 30% 成果物 40% 課題 30% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	分からない言葉を調べる、自国の物語を分かりやすい日本語にする
教科書	1. Handouts
参考書	特になし
受講生に望むこと	グループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること
その他	*受講希望者は第 1 週に必ず出席すること *授業内容は受講者の人数・レベルにより変更の可能性あり

Course	Japanese Project I B
Course No.	3901542
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed5
Instructor	Minako Nagato
Course Overview	中級中期日本語に向けて語彙を増やすことを目的とし、テーマに沿った語彙収集を行い、最終的には各自の興味ある分野や専門分野についての語彙収集および用語集の作成を目標とする。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	This course aims to develop students' understanding of certain amount of stories in Japanese using Japanese old tales, at the end of the course students take roles in a story to read aloud in a group, with the ultimate goal of performing a play on a stage in Japanese Project II.
Schedule	Week 1: Orientation, self-introduction Weeks 2 to 5: Watch or read some interesting Japanese old tales Weeks 6 to 10: Introduce students' native old tale in Japanese Weeks 11 to 15: Group work choose a story, decide casting, practice recitation and record the story
Prerequisites	Student must have completed Comprehensive Japanese 4 or 5.
Grading policy	Class participation 30%, Final project 40%, Assignments 30% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	study new vocabulary words, translate students' native stories in Japanese
Textbook(s)	1. Handouts
Reference book(s)	
Student requirements	Students must be active and cooperative within a group
Others	* Those who intend to enrol must attend the first meeting. * Class content may be adjusted according to the level and the number of students enrolled.

授業科目名	制作日本語 IIA
科目番号	3901552
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 木 5
担当教員	柳田 しのぶ
授業概要	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につけ、それらを使用できるようになる。
授業の概要・計画	第1週(レベルチェック・オリエンテーション)、第2~6週(基礎練習・実践練習)、第7週(中間発表)、第8週(中間発表のフィードバック)、第9週~14週(台本の作成と実践練習)、第15週(最終発表)
履修条件	総合日本語 6,7 レベル
成績評価方法	クラス活動 20%、レポート(台本)20%、中間発表 20%、期末発表 40%
授業外における学習方法	1 発声・実技練習のためのテキスト(台本)を読む :個人活動 2 実技のためのレポート(台本)の作成 :グループ活動 3 台本を熟読し、役の気持ちを理解する :個人活動 4 グループごとの練習 :グループ活動
教科書	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
参考書	なし
受講生に望むこと	グループワークが主体の授業になるのですべての授業に出席できることが望ましい。
その他	なし

Course	Japanese Project II A
Course No.	3901552
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Thu5
Instructor	Shinobu Yanagita
Course Overview	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Through drama, students will learn about timing one's speech and natural expressions in Japanese, and be able to apply these to situations in daily living and for particular places and times.
Schedule	Week 1: Level check/Orientation Weeks 2 to 6: Basic and practical drills Week 7: Midterm presentation Week 8: Midterm presentation evaluation Weeks 9 to 14: Script making and practical drills Week 15: Final presentation 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Class activities 20%, Report (Script) 20%, Midterm presentation 20%, Final presentation 40%
Study outside of class	(1) Read the text or scripts for vocal exercises and skills practice: Individual (2) Creating a skills report or script: Group (3) Study the script and understand the role: Individual (4) Practice as a group: Group
Textbook(s)	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
Reference book(s)	
Student requirements	Since the course will mainly involve groupwork, attendance in all classes is desired.
Others	

授業科目名	制作日本語 IIB
科目番号	3901562
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 木 5
担当教員	柳田 しのぶ
授業概要	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につけ、それらを使用できるようになる。
授業の概要・計画	第1週(レベルチェック・オリエンテーション)、第2~6週(基礎練習・実践練習)、第7週(中間発表)、第8週(中間発表のフィードバック)、第9週~14週(台本の作成と実践練習)、第15週(最終発表)
履修条件	総合日本語 6,7 レベル
成績評価方法	クラス活動 20%、レポート(台本)20%、中間発表 20%、期末発表 40%
授業外における学習方法	1 発声・実技練習のためのテキスト(台本)を読む :個人活動 2 実技のためのレポート(台本)の作成 :グループ活動 3 台本を熟読し、役の気持ちを理解する :個人活動 4 グループごとの練習 :グループ活動
教科書	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
参考書	なし
受講生に望むこと	グループワークが主体の授業になるのですべての授業に出席できることが望ましい。
その他	なし

Course	Japanese Project II B
Course No.	3901562
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Thu5
Instructor	Shinobu Yanagita
Course Overview	日常生活の場面や特定の場所・時間帯で使用される日本語について、演劇を通じて発話のタイミング・自然な日本語の表現等を身につける、それらを使用できるようになる。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Through drama, students will learn about timing one's speech and natural expressions in Japanese, and be able to apply these to situations in daily living and for particular places and times.
Schedule	Week 1: Level check/Orientation Weeks 2 to 6: Basic and practical drills Week 7: Midterm presentation Week 8: Midterm presentation evaluation Weeks 9 to 14: Script making and practical drills Week 15: Final presentation 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 6 or in Level 7.
Grading policy	Class activities 20%, Report (Script) 20%, Midterm presentation 20%, Final presentation 40%
Study outside of class	(1) Read the text or scripts for vocal exercises and skills practice: Individual (2) Creating a skills report or script: Group (3) Study the script and understand the role: Individual (4) Practice as a group: Group
Textbook(s)	1. Handouts (to be prepared and distributed by instructor)
Reference book(s)	
Student requirements	Since the course will mainly involve groupwork, attendance in all classes is desired.
Others	

授業科目名	フィールドワーク日本語 A
科目番号	3901572
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 水 5
担当教員	山田 野絵
授業概要	生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。
授業の概要・計画	身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。 第 1 回
履修条件	総合日本語レベル 2、3 の日本語力のあること。
成績評価方法	授業参加態度 40% 成果物 40% 課題 20% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	語彙採集、発表準備、用語集作成等
教科書	特になし
参考書	特になし
受講生に望むこと	言葉に興味があり、特にグループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること
その他	・授業内容は、学習者によって柔軟に対応。

Course	Japanese Fieldwork A
Course No.	3901572
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Wed5
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	The course aims to increase students' Japanese vocabulary through authentic Japanese with the ultimate goal of creating a collection of vocabulary and glossary.
Schedule	1.
Prerequisites	Students must have Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3. of the Japanese language proficiency test.
Grading policy	Classroom participation 40%, Assignments 20%, Final project 40% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	Collection of vocabulary words, creation of glossary, etc
Textbook(s)	
Reference book(s)	
Student requirements	Students must be interested in language and are able to work independently, and can be active and cooperate within a group.
Others	・ Class content may be adjusted according to the students enrolled.

授業科目名	フィールドワーク日本語 B
科目番号	3901582
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 水 5
担当教員	山田 野絵
授業概要	生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。
授業の概要・計画	身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。 第 1 回
履修条件	総合日本語レベル 2、3 の日本語力のあること。
成績評価方法	授業参加態度 40% 成果物 40% 課題 20% (ただし、70% 以上の出席率が必要)
授業外における学習方法	語彙採集、発表準備、用語集作成等
教科書	
参考書	
受講生に望むこと	言葉に興味があり、特にグループワークにて課題に自主的、協力的、積極的に取り組めること
その他	・授業内容は、学習者によって柔軟に対応

Course	Japanese Fieldwork B
Course No.	3901582
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Wed5
Instructor	Noe Yamada
Course Overview	生の日本語に触れ、言葉や表現を増やすことを目的とし、言葉を集めて用語集を作成することを目標とする。身近な日本文化・生活に関連したテーマについて、個人またはグループで様々な方法を用いて言葉を収集し、それらをまとめて発表をしたり、用語集を作成したりする。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	The course aims to increase students' Japanese vocabulary through authentic Japanese with the ultimate goal of creating a collection of vocabulary and glossary.
Schedule	1.
Prerequisites	Students must have Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3. of the Japanese language proficiency test.
Grading policy	Classroom participation 40%, Assignments 20%, Final project 40% (Attendance rate of 70% or higher is required)
Study outside of class	
Textbook(s)	
Reference book(s)	
Student requirements	Students must be interested in language and are able to work independently, and can be active and cooperate within a group.
Others	・ Class content may be adjusted according to the students enrolled.

授業科目名	プロジェクトワーク日本語 A
科目番号	3901592
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 金 5
担当教員	関口 美緒
授業概要	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日本についてより知るために、身近にある文化・言語変容について日本と母国を比較・分析し、その変化過程や理由を考える。また、実際に日本文化体験もおこなう。
授業の概要・計画	初回(1~2回)で文化変容(accutulation)・言語変容(ピジン・クレオール)など概論を説明し、身近な話題の例を紹介する。前半5回は日本と国の文化変容について考え意見交換し、ポスター(またはPPT)発表する。後半5回は日本と国の言語変容について考える。最後4回で公開発表用のビデオ(ポスター等)を作成し、多くの例を文書にまとめて小冊子を作成したい。また、実際の文化体験を通して、日本文化を肌で感じる。 第1回オリエンテーション。自己紹介等。
履修条件	総合日本語 2、3 レベル
成績評価方法	前半ポスター発表 30%、後半プロジェクト活動 30%、文化体験 10%、授業参加貢献度 20%、授業外学習度 10%(宿題・調査資料・準備学習等提出)
授業外における学習方法	自分のテーマに沿って、日本の文化・言語の特徴を調べて、自国の文化と比較するため、本やインターネットなどを使った授業外の調査が必要である。
教科書	なし
参考書	なし(配布資料等)
受講生に望むこと	両国の文化の類似点と相違点を理解し、クラスメイトの意見を聞き意見交換をすることで、日本での生活を考えたり、お互いに共感したりできる場になるとよい。積極的に意見交換をし、クラスが一丸となってプロジェクトを達成させ、研究結果を公開したい。
その他	5回欠席でD。意見交換・資料作成・発表時に欠席の場合、減点される。

Course	Japanese Project Work A
Course No.	3901592
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Fri5
Instructor	Mio Sekiguchi
Course Overview	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	In order to know more about Japan, students will compare and analyze the transformation of culture (acculturation) and language in Japan and in their own country, and think about processes of change and the possible reasons for these. Students will learn to explain their thoughts and ideas in Japanese clearly and plainly.
Schedule	The first few meetings (1-2 times) will be an introduction to the concepts of acculturation and pidgins/creoles and students will be presented with familiar examples of these. In the first half of the course, students will reflect on acculturation in Japan and their own country and engage in discussions and exchange ideas, then give a poster (or PowerPoint) presentation. In the latter half of the course, students will be thinking about language transformation in Japan and their own country. For the final four meetings, they will create a video (or poster, etc) made for open viewing then put together several examples of language transformation to make into a booklet. We will have Japanese culture experience. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3.
Grading policy	Poster presentation (1st half) 30%, video production (2nd half) 30%, Japanese culture experience 10%, class participation 20%, activities done outside of class 10% (submission of homework, survey materials, other preparations)
Study outside of class	Students will be examining characteristics of Japanese culture and language based on a theme they choose, so they will need to do research outside of class hours through reading or searching on the Internet and be able compare this to the culture and language of their own country.
Textbook(s)	
Reference book(s)	None (Handouts to be distributed in class)
Student requirements	Students must understand the similarities and differences in the cultures of both their own country and Japan and by listening to their classmates and exchanging opinion, it is hoped that it will become a venue for them to think about their life in Japan and to sympathize with each other. Students must be active in exchanging ideas and as they become one as a class, it is also hoped that they can achieve all the projects and present the results of their study.

Others	Absence up to 5 times will result in a grade of D. For any absence during class discussions, materials preparation, and oral presentations, points will be deducted.
--------	---

授業科目名	プロジェクトワーク日本語 B
科目番号	3901602
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 金 5
担当教員	関口 美緒
授業概要	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日本についてより知るために、身近にある文化・言語変容について日本と母国を比較・分析し、その変化過程や理由を考える。自分の考えを日本語で解りやすく説明する。
授業の概要・計画	初回(1~2回)で文化変容(accutulation)・言語変容(ピジン・クレオール)など概論を説明し、身近な話題の例を紹介する。前半5回は日本と国の文化変容について考え意見交換し、ポスター(またはPPT)発表する。後半5回は日本と国の言語変容について考える。最後4回で公開発表用のビデオ(ポスター等)を作成し、多くの例を文書にまとめて小冊子を作成したい。 第1回
履修条件	総合日本語 2、3 レベル
成績評価方法	前半ポスター発表 20%、後半ビデオ作成 30%、小冊子作成 30%、授業参加貢献度 10%、授業外学習度 10%(宿題・調査資料・準備学習等提出)
授業外における学習方法	自分のテーマに沿って、日本の文化・言語の特徴を調べて、自国の文化と比較するため、本やインターネットなどを使った授業外の調査が必要である。
教科書	なし
参考書	なし(配布資料等)
受講生に望むこと	両国の文化の類似点と相違点を理解し、クラスメイトの意見を聞き意見交換をすることで、日本での生活を考えたり、お互いに共感したりできる場になるとよい。積極的に意見交換をし、クラスが一丸となってプロジェクトを達成させ、研究結果を公開したい。
その他	5回欠席でD。意見交換・資料作成・発表時に欠席の場合、減点される。

Course	Japanese Project Work B
Course No.	3901602
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Fri5
Instructor	Mio Sekiguchi
Course Overview	各自が設定したテーマに沿ってプロジェクトワークを行う。これまで学習してきた日本語を駆使し、生の日本語に触れ、語彙、表現を広げることを目指す。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	In order to know more about Japan, students will compare and analyze the transformation of culture (acculturation) and language in Japan and in their own country, and think about processes of change and the possible reasons for these. Students will learn to explain their thoughts and ideas in Japanese clearly and plainly.
Schedule	The first few meetings (1-2 times) will be an introduction to the concepts of acculturation and pidgins/creoles and students will be presented with familiar examples of these. In the first half of the course, students will reflect on acculturation in Japan and their own country and engage in discussions and exchange ideas, then give a poster (or PowerPoint) presentation. In the latter half of the course, students will be thinking about language transformation in Japan and their own country. For the final four meetings, they will create a video (or poster, etc) made for open viewing then put together several examples of language transformation to make into a booklet. 1.
Prerequisites	Students must be in Level Comprehensive Japanese 2 or in Level 3.
Grading policy	Poster presentation (1st half) 20%, video production (2nd half) 30%, booklet 30%, class participation 10%, activities done outside of class 10% (submission of homework, survey materials, other preparations)
Study outside of class	Students will be examining characteristics of Japanese culture and language based on a theme they choose, so they will need to do research outside of class hours through reading or searching on the Internet and be able compare this to the culture and language of their own country.
Textbook(s)	
Reference book(s)	None (Handouts to be distributed in class)
Student requirements	Students must understand the similarities and differences in the cultures of both their own country and Japan and by listening to their classmates and exchanging opinion, it is hoped that it will become a venue for them to think about their life in Japan and to sympathize with each other. Students must be active in exchanging ideas and as they become one as a class, it is also hoped that they can achieve all the projects and present the results of their study.

Others	Absence up to 5 times will result in a grade of D. For any absence during class discussions, materials preparation, and oral presentations, points will be deducted.
--------	---

授業科目名	英語で学ぶ日本事情 A
科目番号	3901612
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 ABC 火 5
担当教員	関口 美緒
授業概要	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日本の社会や文化などのさまざまな側面について親しみ、日本語に対する知識を深めるとともに、日本で滞在を豊かなものにする。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。日本の社会や文化に関する映像教材を用い、それについてディスカッションを行い、参加者の考えを深める。 課題提出、プロジェクトワークあり。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。 第1回
履修条件	全レベル(総合日本語1~7)
成績評価方法	発表 30% 課題達成度 30% 宿題 20% クラスパフォーマンス 20%
授業外における学習方法	課題に対して必要な情報収集を行う。
教科書	プリントを配布する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	広く日本社会文化に理解や関心を持ち、自国の文化と比較し洞察力を養ってほしい。他の学生との協働作業に積極的に取り組んでほしい。
その他	受講生のニーズに合わせて、授業内容を変更することがある。

Course	Japanese socio cultural studies (taught in English) A
Course No.	3901612
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	SprABC Tue5
Instructor	Mio Sekiguchi
Course Overview	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be acquainted with different aspects of Japanese society and culture and they get to enrich their stay in Japan while strengthening their knowledge of Japanese.
Schedule	<p>Week 1: Orientation</p> <p>Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class. Video material on Japanese society and culture will be shown and discussions conducted based on the videos to develop students' ideas and thinking about Japanese society and culture.</p> <p>* There will be various tasks and assignments as well as project work.</p> <p>* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.</p> <p>1.</p>
Prerequisites	For students of all levels (Comprehensive Japanese 1 to in Level 7.)
Grading policy	Presentation 30%, Classroom tasks and assignments 30%, Homework 20%, Class participation 20%
Study outside of class	Students have to do data gathering that is needed for tasks and assignments.
Textbook(s)	Handouts will be distributed in class.
Reference book(s)	Will be introduced as necessary
Student requirements	<p>It is hoped that students possess a broad understanding and interest in Japanese society and culture and gain insight as they compare it with their own culture.</p> <p>It is also desired that students be actively involved in collaborative work with other students</p>
Others	The class content may change according to the students' needs.

授業科目名	英語で学ぶ日本事情 B
科目番号	3901622
単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火 5
担当教員	関口 美緒
授業概要	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	日本の社会や文化などのさまざまな側面について親しみ、日本語に対する知識を深めるとともに、日本で滞在を豊かなものにする。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション 第2~15週:スケジュールに基づき授業を行う。日本の社会や文化に関する映像教材を用い、それについてディスカッションを行い、参加者の考えを深める。 課題提出、プロジェクトワークあり。 初回授業時に、詳細なスケジュール等配布する。 第1回
履修条件	全レベル(総合日本語1~7)
成績評価方法	発表 30% 課題達成度 30% 宿題 20% クラスパフォーマンス 20%
授業外における学習方法	課題に対して必要な情報収集を行う。
教科書	プリントを配布する。
参考書	必要時に紹介する。
受講生に望むこと	広く日本社会文化に理解や関心を持ち、自国の文化と比較し洞察力を養ってほしい。他の学生との協働作業に積極的に取り組んでほしい。
その他	受講生のニーズに合わせて、授業内容を変更することがある。

Course	Japanese socio cultural studies (taught in English) B
Course No.	3901622
Credits	1.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue5
Instructor	Mio Sekiguchi
Course Overview	日本の社会や文化などに親しみ、日本語に対する知識を深める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will be acquainted with different aspects of Japanese society and culture and they get to enrich their stay in Japan while strengthening their knowledge of Japanese.
Schedule	<p>Week 1: Orientation</p> <p>Weeks 2 to 15: Classes will be conducted according to the schedule to be given in class. Video material on Japanese society and culture will be shown and discussions conducted based on the videos to develop students' ideas and thinking about Japanese society and culture.</p> <p>* There will be various tasks and assignments as well as project work.</p> <p>* A detailed schedule will be handed out on the first day of classes.</p> <p>1.</p>
Prerequisites	For students of all levels (Comprehensive Japanese 1 to in Level 7.)
Grading policy	Presentation 30%, Classroom tasks and assignments 30%, Homework 20%, Class participation 20%
Study outside of class	Students have to do data gathering that is needed for tasks and assignments.
Textbook(s)	Handouts will be distributed in class.
Reference book(s)	Will be introduced as necessary
Student requirements	<p>It is hoped that students possess a broad understanding and interest in Japanese society and culture and gain insight as they compare it with their own culture.</p> <p>It is also desired that students be actively involved in collaborative work with other students.</p>
Others	The class content may change according to the students' needs.

授業科目名	総合日本語 1B
科目番号	3901632
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火・水・木・金 3
担当教員	小野 正樹
授業概要	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901202 と同内容。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、自己紹介など初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読め
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション『Situational Functional Japanese(学内版)』1課、『NEJ vol. 1』1課、ひらがなの確認 第2週～第7週:『Situational Functional Japanese(学内版)』2課～4課、『NEJ vol. 1』2課～4課、カタカナの確認、中間テスト 第8週～第15週:『Situational Functional Japanese(学内版)』5課～8課、『NEJ vol. 1』5課～8課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。日本語が初めて、あるいは少しだけしか勉強したことがないこと。ひらがな・カタカナが読めること。
成績評価方法	中間テスト 40% 期末テスト 40% 日常点 20%
授業外における学習方法	1 『Situational Functional Japanese Notes』トをしっかり予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 1 B
Course No.	3901632
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue/Wed/Thu/Fri3
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	初歩的な日常場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、単文や簡単な複文が理解でき、単文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字で極簡単な文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901202 と同内容。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will become able to participate in simple daily communicative activities, such as giving a self introduction, though assistance and scaffolding may be required. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability understand simple and easy compound sentences, and to produce simple sentences. In the areas of reading and writing, students will become able to understand and produce simple compositions on daily topics, appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 1, "NEJ vol.1" Unit 1, Hiragana Weeks 2 to 7: "Basic Japanese" Units 2 to 4, "NEJ vol.1" Units 2 to 4, Katakana, Midterm Test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese" Units 5 to 8, "NEJ vol.1" Units 5 to 8, Final Test, Presentation
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have little or no previous Japanese study. Ability to read and write Hiragana/Katakana desirable.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Presentation 10% Quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vol. 1』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
Reference book(s)	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 1』
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--

授業科目名	総合日本語 2B
科目番号	3901642
単位数	4.0 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	秋 ABC 火・水・木・金 4
担当教員	小野 正樹
授業概要	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
備考	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901222 と同内容。
授業形態	演習
授業の到達目標及びテーマ	必要に応じて助けをもらいながら、日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
授業の概要・計画	第1週:オリエンテーション、カタカナの確認、『Situational Functional Japanese (学内版)』9課、『NEJ vol. 1』9課 第2週～第7週:『Situational Functional Japanese (学内版)』10課～12課、『NEJ vol. 1』7課～12課、中間テスト 第8週～第15週:『Situational Functional Japanese (学内版)』13課～16課、『NEJ vol. 2』13課～16課、期末テスト、プレゼンテーション
履修条件	特別聴講学生(学類生)に限る。総合日本語1修了者であること、あるいはそれと同等の日本語力があること
成績評価方法	中間テスト 40% 期末テスト 40% 日常点 20%
授業外における学習方法	1 『Situational Functional Japanese Notes』トをしっかり予習しておく。 2 マスターテキストに倣った作文を書く。 3 各種宿題をする。
教科書	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
参考書	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』
受講生に望むこと	予習・復習を必ずすること。宿題・課題を絶対に締め切りまでに完成させ提出すること。積極的にコースに参加し、他の受講者・教員と協同的に日本語を学習すること。
その他	

Course	Comprehensive Japanese 2 B
Course No.	3901642
Credits	4.0Credits
Grade	1Year
Timetable	FallABC Tue/Wed/Thu/Fri4
Instructor	Masaki Ono
Course Overview	日本語・日本文化の理解を深めながら、必要な情報をとることなど日常的な場面でのコミュニケーションができるようになる。話す・聞くの技能においては、複文や簡単な段落レベルで理解でき、複文で産出ができる。読む・書くについては、身近なテーマについて、ひらがな・カタカナ・既習漢字でやや長いまとまりのある文章が書けて、読める。
Remarks	外国人留学生のうち特別聴講学生(学群)が受講できる。 3901222 と同内容。
Course Type	class exercises
Objective(s)	Students will develop their abilities to communicate in everyday situations while deepening their understanding of the Japanese language and Japanese culture. In the skill areas of speaking and listening, students will develop the ability to understand complex sentences and simple paragraphs, and to produce complex sentence-level discourse. In the areas of reading and writing, students will become able to read and write longer compositions while appropriately using Hiragana, Katakana and Kanji.
Schedule	Week 1: Orientation, Katakana check test, "Basic Japanese (in house ed.)" Unit 9, "NEJ vol.1" Unit 9 Weeks 2 to 7: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 10 to 12, "NEJ vol.1" Units 7, 8, 10, 11, and 12, Midterm test Weeks 8 to 15: "Basic Japanese (in house ed.)" Units 13 to 16, "NEJ vol.2" Units 13 to 16, Final test, Presentation
Prerequisites	This class is limited to short-term exchange students (undergrad). Students should have attained the level of N101 or N102 prior to this class.
Grading policy	Essays 10% Role plays, skits, etc. 10% Poster presentation 10% Unit quizzes 15% Midterm test 15% Final test 40%
Study outside of class	1Preview the Master Text prior to the start of each unit 2Write essays based on the Master Text 3Complete and turn in all homework assignments
Textbook(s)	1. 『NEJ(Elementary Japanese by Theme) vols. 1&2』 2. Course Pack(Basic Japanese(in house ed.), etc.)
Reference book(s)	1. 『Situational Functional Japanese: Notes, vol. 2』
Student requirements	Students are required to actively preview and review all materials, complete and turn in all homework assignments, participate actively in all class activities, and to be cooperative in creating a good environment for joint learning of the Japanese language.

Others	
--------	--